

30,40,6

30,40,5

佐世保鎮守府

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管 名稱及所在地又ハ原駐基地

第七六五海軍航空隊 鹿屋航空基地(鹿兒島縣鹿屋市)

第九五八海軍航空隊	第九五五海軍航空隊	第九五一海軍航空隊	第七六三海軍航空隊	第七六二海軍航空隊	第七六一海軍航空隊	第七五二海軍航空隊	第三五二海軍航空隊	第二五二海軍航空隊	第一五三海軍航空隊	濠北海軍航空隊	臺灣海軍航空隊	臺南海軍航空隊	九州海軍航空隊	元山海軍航空隊	國分海軍航空隊	
指宿航空基地(鹿兒島縣指宿郡)	佐世保航空基地(佐世保軍港)	佐世保航空基地(佐世保軍港)	宮崎航空基地(宮島縣宮崎郡)	新竹航空基地(臺灣新竹州新竹市)	鹿屋航空基地(鹿兒島縣鹿屋市)	新竹航空基地(臺灣新竹州新竹市)	大村航空基地(長崎縣東彼杵郡)	鹿兒島航空基地(鹿兒島縣鹿兒島市)	新竹航空基地(臺灣新竹州新竹市)	鹿屋航空基地(鹿兒島縣鹿屋市)	中交海軍航空隊	臺灣新竹州新竹市	沖繩縣島尻郡	鹿兒島縣鹿屋市	朝鮮咸鏡南道德源郡	鹿兒島縣始良郡
											佐世保軍港		釜山海軍航空隊	朝鮮慶尙南道金海郡		

三〇/四〇/隊

1402

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地

三〇ノ四〇ノ

舞鶴鎮守府

神町海軍航空隊	山形縣北村山郡	
美保海軍航空隊	鳥取縣西伯郡	美保航空基地 (鳥取縣西伯郡)
第三八一海軍航空隊		美保航空基地 (鳥取縣西伯郡)
第一〇八一海軍航空隊		美保航空基地 (鳥取縣西伯郡)
滋賀海軍航空隊	滋賀縣滋賀郡	
小松海軍航空隊	石川縣小松市	
美保海軍航空隊	鳥取縣西伯郡	
第三八一海軍航空隊		美保航空基地 (鳥取縣西伯郡)
第一〇八一海軍航空隊		美保航空基地 (鳥取縣西伯郡)

左ノ地ニ海軍航空隊分遣隊ヲ置ク

名	稱	所	在	地
霞ヶ浦海軍航空隊	東京分遣隊	東京市	蒲田區	
横須賀海軍航空隊	大分分遣隊	大分縣	大分市	
各市埠海軍航空隊	關嶺分遣隊	愛知縣	碧海郡	
三重海軍航空隊	奈良分遣隊	奈良縣	山邊郡	
三重海軍航空隊	高野山分遣隊	和歌山縣	伊都郡	

三〇ノ四〇ノ

30,40,8

30,40,7

附則

本令ハ昭和十七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管 名稱及所在地又ハ原駐基地

海軍航空隊ノ飛行隊又ハ其ノ一部ヲ一時派遣セラレタル場合ニ於テハ海軍航空隊令中分遣隊ニ關スル規定ヲ準用ス
但シ首席ノ兵科將校ハ派遣隊長トス

原駐海軍航空隊臺中分遣隊	臺中臺中州豐原郡
洲ノ崎海軍航空隊横須賀分遣隊	横須賀軍港
滋賀海軍航空隊西ノ宮分遣隊	兵庫縣西ノ宮市
滋賀海軍航空隊寶塚分遣隊	兵庫縣武庫郡
滋賀海軍航空隊	京都府中郡
博多海軍航空隊天草分遣隊	熊本縣天草郡
築城海軍航空隊富高分遣隊	宮崎縣東臼杵郡
大村海軍航空隊諫早分遣隊	長崎縣諫早市
大村海軍航空隊津州島分遣隊	朝鮮全羅南道津州島
詫間海軍航空隊西條分遣隊	愛媛縣西條市
詫間海軍航空隊福山分遣隊	廣島縣深安郡
松山海軍航空隊宇和島分遣隊	愛媛縣宇和島市

海軍航空隊ノ所屬 名稱及所在地ノ件及海軍航空隊殘留隊令ハ之ヲ廢止ス

三〇ノ四〇ノ八

大文

第一類官制航空基地管理ニ關スル件

東港航空基地	臺中航空基地	臺灣(兼臺東港所在ノモノヲ除ク)航空基地	南西諸島水上航空基地	南西諸島陸上航空基地	濟州島航空基地	龍山航空基地	鎮海航空基地	指宿航空基地	佐世保航空基地
第九〇一海軍航空隊	鹿尾海軍航空隊	臺灣海軍航空隊	海軍航空隊	南西諸島海軍航空隊	大村海軍航空隊			第九五一海軍航空隊	

鎮海航空基地
濟州島航空基地

⑤3042

⑤3042

三〇ノ四二

可三ノ

航

1408

第一類 官制 海軍練習航空隊ノ所掌事項

相模野海軍航空隊

飛行機整備學生、特修科學生及高等科飛行機整備術練習生ノ教育

第二相模野海軍航空隊

高等科及普通科飛行機整備術練習生並ニ飛行機整備術ヲ專修スル豫備學生、豫備生徒及整備科豫備練習生ノ教育

藤澤海軍航空隊

高等科兵器術(航空無線兵器)練習生、普通科兵器術(航空無線兵器)練習生、兵器整備術(航空無線兵器)ヲ專修スル

豫備學生、豫備生徒及整備科豫備練習生ノ教育

河和海軍航空隊、那山海軍航空隊、香取海軍航空隊、人吉海軍航空隊、第二出水海軍航空隊、第廿五南浦海軍航空隊、岡崎海軍航空隊、第二岡崎海軍航空隊、申良海軍航空隊

高等科飛行機整備術練習生及普通科飛行機整備術練習生ノ教育

育

洲ノ崎海軍航空隊

兵器整備學生、特修科學生、高等科兵器整備術練習生、普通科兵器整備術練習生及兵器整備術ヲ專修スル豫備學生及豫備生徒ノ教育

垂水海軍航空隊

兵器整備術(雷爆)ヲ專修スル普通科兵器整備術練習生ノ教育

第二鹿屋海軍航空隊

兵器整備術(射爆)ヲ專修スル普通科兵器整備術練習生ノ教育

土浦海軍航空隊、三重海軍航空隊、福岡海軍航空隊、小富士海軍航空隊、鹿兒島海軍航空隊、松山海軍航空隊、美保海軍航空隊、滋賀海軍航空隊、三澤海軍航空隊、清水海軍航空隊、小松海軍航空隊、倉敷海軍航空隊、浦戸海軍航空隊

一 飛行豫科練習生ノ教育

二 豫備學生(飛行)、豫備生徒(飛行)及飛行科豫備練習生

ニ對スル基礎教程ノ教育

三 航空ニ關スル適性

横須賀海軍航空隊

一 航空ニ關スル研究實驗

二 海軍ニ於ケル航空術教育ノ規畫ニ關スル研究及調査

三 操式、教範、航空術年報等ニ關スル研究及調査

四 高等科飛行學生、高等科飛行機整備學生、高等科兵器整備學生、特修科學生、專攻科學生及特修科飛行術練習生ノ教育

⑤ 30.5.2, 13

● 連山委員會規程

昭和三十年二月十三日
官房軍機密第233號

連山委員會規程左ノ通定ム

第一條 試製連山改(鋼製)ノ急速整備ヲ期シ之ヲ研究調査及
綜合計畫ヲ行ヒ其ノ實現ノ促進ニ任ズル爲連山委員會(以下
單ニ委員會ト稱ス)ヲ置ク

第二條 委員會ニ左ノ分科會ヲ置ク分科會ノ組織ニ關シテハ別
ニ之ヲ定ム

一 第一分科會(設計ニ關スル事項)

二 第二分科會(製造ニ關スル事項)

三 第三分科會(材料ニ關スル事項)

第三條 委員會ニ委員長、委員長輔佐、分科會長、委員及幹事
ヲ置ク其ノ組織別表ノ如シ

部外ノ委員及幹事ハ海軍大臣之ヲ依囑ス

第四條 委員長ハ會務ヲ總理ス

第五條 委員長輔佐ハ委員長ヲ輔佐ス

第六條 分科會長及委員ハ議案ヲ審議ス

第七條 幹事ハ委員會及分科會ニ關スル庶務ヲ整理シ各分科會
ハノ連絡ニ任ズ

第八條 委員長ハ審議上必要アルトキハ委員以外ノモノヲシテ
議事ニ參與セシムルコトヲ得

第一類 官制 連山委員會規程

第九條 委員長ハ必要ニ應ジ官廳、民間會社其ノ他ノ者ニ研究
調査ノ一部ヲ依囑スルコトヲ得

第十條 本規程ニ定ムルモノヲ除ク外連山委員會ニ關シ必要ナ
ル事項ハ委員長ノ定ムル所ニ依ル

⑤ 30.5.2, 13

三〇五二ノ一三

丁(官房軍機密第一四三號別表)

備考	<p>一 ○印ハ幹事ヲ示ス 二 本表ノ外必要ニ應ジ適宜委員ヲ命ズルコトアルベシ</p>	<p>海軍艦政本部長</p>	<p>海軍艦政本部長 海軍艦政本部出仕 海軍艦政本部出仕 高座海軍工廠長</p>	<p>第一分科會長 海軍航空本部第二部長 第二分科會長 海軍艦政本部第四部長 第三分科會長 海軍艦政本部出仕</p>	<p>○海軍省軍務局第一課長 海軍省軍務局局員 ○海軍省兵備局第二課長 海軍省兵備局局員 海軍施設本部總務部第一課長 海軍艦政本部總務部第一課長 海軍艦政本部部員(内二名) 海軍艦政本部出仕 海軍航空本部總務部第一課長 海軍航空本部總務部第二課長 ○海軍航空本部第二部第一課長 ○海軍航空本部第二部第二課長 海軍航空本部部員(内一名) ○軍令部第三課長 軍令部部員 ○海軍航空技術廠部員(企畫科長) 海軍航空技術廠部員 横須賀海軍航空隊附(審査部員) 横須賀海軍航空隊附(審査部員) ○軍需省航空兵器總局總務局總務課長 軍需省航空兵器總局總務局技術課長 ○軍需省航空兵器總局第一局飛行機課長 軍需省航空兵器總局第一局原動機課長 ○軍需省航空兵器總局第三局鐵鋼課長 軍需省航空兵器總局職員</p>	<p>委員長 委員長輔佐 分科會長 委員</p> <p>連山委員會組織</p>
----	--	----------------	---	---	---	--

1415 1414

第一類 官制 連山委員會規程

三〇、五二二四—三〇、五二二五



丁(官房軍機密第一四三號別表)

連山委員會組織			
委員長	委員長輔佐	分科會長	委員
			○海軍省軍務局第一課長
			海軍省軍務局員

一四一七五

1415

1414

●特設船舶警戒部令

昭和十九年二月一日
内令第二百七十五號

特設船舶警戒部令左ノ通定メラル

特設船舶警戒部令

第一條 大東亞戰爭中船舶警戒部ヲ置ク

第二條 船舶警戒部ハ海上護衛司令部ニ屬シ船舶ノ警戒ニ充

ツベキ軍人ノ派出及其ノ補缺員ノ收容ニ關スルコト並ニ此等
軍人ノ訓練ヲ掌リ所要ノ船舶ノ自衛、警戒及防禦ニ關シ船員
ノ指導ニ任ズ

第三條 海軍大臣ハ必要ニ應ジ船舶警戒部ノ支部ヲ置キ其ノ事

務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第四條 船舶警戒部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長

支部長

部員

分隊長

附

第五條 部長ハ海上護衛司令長官ニ隸シ部務ヲ總理ス

第一類 官制 特設船舶警戒部令

第六條 部長ハ部下ノ職員缺員中又ハ事故アルトキハ他ノ職員

ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第七條 部長缺員中又ハ事故アルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ

其ノ職務ヲ代理ス但シ海上護衛司令長官特ニ代理者ヲ置キタ

ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 支部長ハ部長ノ命ヲ承ケ支部ノ部務ヲ掌理ス

第九條 部員及附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十條 分隊長ハ部長又ハ支部長ノ命ヲ承ケ其ノ指定ノ分隊ヲ

指揮統御シ軍紀風紀ヲ維持シ隊員ノ訓練及人事ヲ掌理ス

第十一條 海軍大臣ハ必要ニ應ジ支部長ヲシテ部長ノ監督ノ下

ニ於テ支部ニ關スル船舶警戒部事務ノ一部ヲ分掌セシムルコ

トヲ得

第十二條 船舶警戒部ノ定員ハ別表ニ依ル

三八ノ七二ノ一

38.72.2

第一類 官制 特設船舶警戒部令

考	備	計		附				
		特務士官	士官	主計	衛生	工	機	水
四	一 中少尉(水)、兵曹長及中少尉(機)、機關兵曹長ハ夫々合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得 二 下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減シ又他科ノ下士官及兵ヲ以テ充ツルコトヲ得 三 特修兵ハ適宜トス 四 海軍大臣ハ必要ニ應ジ本表ノ定員ヲ臨時増減スルコトヲ得	十八人	内兼務 四十六人 二十一人	主計	衛生	工	機	水
		四千八百八十九人	千五百四人	四十五	十	六	八十七	四千四十一

三八ノ七三ノ三

九

第一類 官制 特設船舶警戒部處務規程

●特設船舶警戒部處務規程

昭和十九年二月一日
内令第二百七十六號

改正 昭和十九年第九二號、第九三號、第一一八號、第一二〇四號、第一三八
二號、百零六號、第一三三號、第一六六號

特設船舶警戒部處務規程左ノ通定ム

特設船舶警戒部處務規程

第一條 特設船舶警戒部ハ常ニ關係ノ地方在勤海軍武官府ト氣

脈ヲ通ズベシ

第二條 部長ハ部内ノ服務内規ヲ定メ海上護衛司令長官ノ認可

ヲ受ケ之ヲ實施スベシ

第三條 部長ハ補缺員ヲ定員ノ業務ニ充ツルコトヲ得此ノ場合

ニ於テハ海上護衛司令長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第四條 特設船舶警戒部令第七條ノ規定ニ依リ部長ノ職務ヲ代

理シタルトキハ代理者ハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第五條 特設船舶警戒部令第十條ノ規定ニ依リ支部長ノ管掌ス

ベキ事項左ノ如シ

一 分掌事項中將來計畫其ノ他重要ト認ムルモノヲ除キタル
事項

若松	船舶警戒部若松支部
博多	船舶警戒部博多支部
基隆	船舶警戒部基隆支部

三八ノ七二ノ四

二 雇員以下ノ人事ニ關スル事項
第六條 船舶警戒部ノ支部ヲ置ク其ノ所在地、呼稱及分掌事項

左ノ如シ

所在地	呼稱	分掌事項
室蘭	船舶警戒部室蘭支部	各所在地方面ニ於ケル船舶警戒部事務ノ一部ヲ分掌ス其ノ區分ハ船舶警戒部長ノ定ムル所ニ依ル
小樽	船舶警戒部小樽支部	
新潟	船舶警戒部新潟支部	
大阪	船舶警戒部大阪支部	
神戸	船舶警戒部神戸支部	
門司	船舶警戒部門司支部	
三池	船舶警戒部三池支部	
長崎	船舶警戒部長崎支部	
鹿兒島	船舶警戒部鹿兒島支部	
高雄	船舶警戒部高雄支部	
昭南	船舶警戒部昭南支部	釜山 船舶警戒部釜山支部
スラバヤ	船舶警戒部スラバヤ支部	上海 船舶警戒部上海支部

第七條 特設船舶警戒部ノ職員ハ船舶警戒部内ニ起臥シ其ノ紀律ハ軍艦ノ例ニ準ズ

特設艦船部隊令

大正八年四月十六日
内令第百十六號

改正 大正九年第二四一號、一三年第二六五號、昭和三年第二六〇號、七年第二九二號、八年第一三四號、九年第三二五號、〇年第三五〇號、二年第三八六號、三年第二六七號、第三七九號、第五六八號、第九四四號、一四年第八一六號、一五年第四七號、第一七九號、第五八〇號、第八四四號、第一〇三八號、一六年第二五五號、第六四八號、第八〇三號、第八五四號、第一〇三三號、一六年第四一號、第四四號、第九七號、第二八〇號、第四一五號、第五一號、第五二八號、第八五八號、第一〇五〇號、第一四〇七號、第一四五一號、第一五二號、第一七二號、第一七二六號、第一七三〇號、第一三五五號、第三九五號、第五二號、第五二九號、第七三五號、第一〇二九號、第一五二〇號、第一六三八號、第一七三七號、第二〇〇六號、第二一八三號、第二二三八號、第二二六五號、第二三八三號、一八年第一八二號、第二一六號、第二八二號、第三三五號、第四七一號、第七七四號、第七七六號、第一〇一六號、第一三三三號、第一五一二號、第一八九九號、第二三〇一號、第二四一號、第二四九〇號、一九年第二七三號、第二八〇號、第三一七號、第八〇二號、第九一三號、第一〇三九號、第一三六五號、第一三九〇號、**二年第八三號**

特設艦船部隊令左ノ通改正セラル
特設艦船部隊令

第一章 總則

第一條 本令ハ戰時若ハ事變ノ際又ハ必要ニ應ジ特設スル艦船部隊ノ種別並職員及其ノ職務ニ關スルコトヲ規定ス

第二條 特設艦船部隊ハ之ヲ左ノ如ク種別ス

- 一、特設艦船
- (イ) 特設軍艦

- 特設巡洋艦
- 特設敷設艦

第一類 官制 特設艦船部隊令

特設急設網艦

特設航空母艦

特設水上機母艦

特設航空機運搬艦

特設水雷母艦

特設潜水母艦

特設掃海母艦

特設砲艦

特設輸送艦

(ロ) 特設特務艇

特設捕獲網艇

特設防潜網艇

特設敷設艇

特設驅潜艇

特設掃海艇

特設監視艇

特設特務艦船

特設運送艦

特設工作艦

④47

第一類 官制 特設艦船部隊令

- 特設港務艦
- 特設測量艦
- 特設碎氷船
- 特設電線敷設船
- 特設病院船
- 特設救難船
- 特設雜役船
- 特設警備府
- 特設根據地隊
- 特設護衛船團司令部
- 特設海上護衛隊
- 特設潜水戰隊
- 特設練習戰隊
- 特設對潛訓練隊
- 特設港務部
- 特設防備隊
- 特設警備隊
- 特設砲艦隊
- 特設驅潛隊

二 特設部隊

- 特設掃海隊
- 特設哨戒艇隊
- 特設監視艇隊
- 特設魚雷艇隊
- 特設砲艇隊
- 特設潜水艦基地隊
- 特設特別基地隊
- 特設航空基地隊
- 特設海軍航空隊
- 特設海軍飛行隊
- 特設聯合特別陸戰隊
- 特設鎮守府特別陸戰隊
- 特設防空隊
- 特設衛所隊
- 特設見張所
- 特設防備衛所
- 特設防空指揮所
- 特設聯合通信隊
- 特設通信隊
- 特設營隊

第七十一條ノ三 特設氣象隊ハ必要ノ場所ニ之ヲ置キ第一氣象

隊、第二氣象隊等ト呼稱ス

特設氣象隊ハ之ヲ本隊、支隊及觀測所ニ分ツコトヲ得

第七十一條ノ四 特設氣象隊ハ氣象ノ觀測、通報、研究及調査

ニ關スルコトヲ掌ル

第七十一條ノ五 特設氣象隊ニ左ノ職員ヲ置ク

隊長

支隊長

附

第七十一條ノ六 特設氣象隊長ハ直屬上官ノ命ヲ承ケ隊務ヲ統

理ス但シ兵要氣象ノ觀測ニ關スル事項ニ付テハ海軍氣象部長

ノ區處ヲ承ク

第七十一條ノ七 隊長缺員中又ハ事故アルトキハ部下ノ職員席

次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス

第七十一條ノ八 支隊長ハ隊長ノ命ヲ承ケ特設氣象隊ノ隊務ヲ

分掌ス

第七十一條ノ九 附ハ上官ノ命ヲ受ケ服務ス

第十八章 特設寫眞班

第一類 官制 特設艦船部隊令

第七十二條 特設寫眞班ハ之ヲ陸上又ハ艦船内ニ置キ第一寫眞

班、第二寫眞班等ト呼稱ス

第七十三條 特設寫眞班ハ軍事上ノ撮影ニ關スル事ヲ掌ル

第七十四條 特設寫眞班ニ主任及助手トシテ軍人又ハ軍屬ヲ置

ク

第七十五條 主任ハ直屬上官ノ命ヲ承ケ助手以下ヲ統轄シ撮影

事業ヲ掌ル但シ撮影ノ事ニ關シテハ當該地所在首席指揮官ノ

區處ヲ受ク

特設寫眞班ヲ艦船内ニ置クトキハ撮影事業以外ノ事項ニ關シ

テハ當該艦船指揮官ノ區處ヲ受ク

第七十六條 助手ハ主任ノ命ヲ承ケ服務ス

第十九章 特設艦隊補缺班及特設補充員

第七十七條 特設艦隊補缺班ハ士官、特務士官、准士官、下士

官及兵ヨリ成ル

第七十八條 特設艦隊補缺班ハ所屬長官臨時ニ所屬各部ノ缺員

ヲ補充シ又ハ臨時ノ業務ニ從事セシムル等ノ爲之ヲ艦隊ニ置

キ第一補缺班、第二補缺班等ト呼稱シ指定ノ艦船又ハ必要ノ

場所ニ置ク

六〇ノ七

第一類 官制 特設艦船部隊令

第七十九條 特設艦隊補缺班ハ乗組艦船ノ指揮官、所在地首席

指揮官又ハ特ニ所屬長官ノ指定スル指揮官ノ命ヲ承ケ服務シ

首席將校ハ之カ統率ノ責ニ任ス

第八十條 特設補充員ハ各部ノ缺員ヲ補充スル士官ニ在リテハ

東京ニ、特務士官及准士官ニ在リテハ各鎮守府ニ、下士官及

兵ニ在リテハ各海兵團ニ之ヲ置キ各特設補充員ハ第一補充

員、第二補充員等ニ區分ス

第八十一條 特設補充員ノ員數ハ第一補充員ニ在リテハ第一充

員、第二補充員ニ在リテハ第二充員以下ノ員數ニ應シ官階及

職階每ニ其ノ百分ノ二ヲ標準トシテ之ヲ定ム

第二十章 特設回航班

第八十二條 特設回航班ハ之ヲ特設艦船内等ニ置キ第一回航

班、第二回航班等ト呼稱ス

第八十三條 特設回航班ハ拿捕船ノ回航ニ關スルコトヲ掌ル

第八十四條 特設回航班ニ班長及班員ヲ置ク

第八十五條 班長ハ直屬上官ノ命ヲ承ケ班務ヲ統理ス

第八十六條 班長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能

ハサルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス

第八十七條 班員ハ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十一章 特設魚雷調整班

第八十八條 特設魚雷調整班ハ之ヲ艦船、部隊又ハ官衙内ニ置

キ第一魚雷調整班、第二魚雷調整班等ト呼稱ス

第八十九條 特設魚雷調整班ハ魚雷ノ調整整備ニ關スルコトヲ

掌ル 前項ノ外特設魚雷調整班(飛行機用雷撃兵器ノ整備ヲ掌ルモ

第九十 雷撃兵器ノ整備及保管並ニ航空基地ニ於ケル雷撃關係施設、

第九十 教育訓練ニ關スル業務ヲ補助ス

艦船ノ長)ノ命ヲ承ケ班務ヲ統理ス但シ所在ノ部隊又ハ官衙

内ニ於ケル勤務其ノ他ノ統一ニ關シ當該部隊又ハ廳ノ長ノ區

處ヲ承ク

第九十二條 班長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能

ハサルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス

第九十三條 班員ハ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十二章 特設防疫班

第九十四條 特設防疫班ハ之ヲ必要ノ場所ニ置キ第一防疫班、

第二防疫班等ト呼稱ス

第九十五條 特設防疫班ハ作戰地等ニ於ケル防疫ニ關スルコト

六〇ノ八

1423
1424

第一類 官制 特設艦船部隊令

六〇ノ八

第七十九條 特設艦隊補給班ハ乗組艦船ノ指揮官、所在地首席

指揮官又ハ特ニ所屬長官ノ指定スル指揮官ノ命ヲ承ケ服務シ

首席將校ハ之カ統率ノ責ニ任ス

第八十條 特設補充員ハ各部ノ缺員ヲ補充スル士官ニ在リテハ

東京ニ、特務士官及准士官ニ在リテハ各鎮守府ニ、下士官及

兵ニ在リテハ各海兵團ニ之ヲ置キ各特設補充員ハ第一補充

員、第二補充員等ニ區分ス

第八十一條 特設補充員ノ員數ハ第一補充員ニ在リテハ第一充

員、第二補充員ニ在リテハ第二充員以下ノ員數ニ應シ官階及

職階毎ニ其ノ百分ノ二ヲ標準トシテ之ヲ定ム

第二十章 特設回航班

第八十二條 特設回航班ハ之ヲ特設艦船内等ニ置キ第一回航

班、第二回航班等ト呼稱ス

第八十三條 特設回航班ハ拿捕船ノ回航ニ關スルコトヲ掌ル

第八十四條 特設回航班ニ班長及班員ヲ置ク

第八十五條 班長ハ直屬上官ノ命ヲ承ケ班務ヲ統理ス

第八十六條 班長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能

ハサルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス

第八十七條 班員ハ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十一章 特設魚雷調整班

第八十八條 特設魚雷調整班ハ之ヲ艦船、部隊又ハ官衙内ニ置

キ第一魚雷調整班、第二魚雷調整班等ト呼稱ス

第八十九條 魚雷艇ノ部中第二百二十號型ノ項ヲ、第二百二十五號

第九十條 特設魚雷調整班ニ隊長、分隊長及隊附ヲ置ク

第九十一條 班長ハ直屬上官(艦船内ニ置カレタルモノハ當該

艦船ノ長)ノ命ヲ承ケ班務ヲ統理ス但シ所在ノ部隊又ハ官衙

内ニ於ケル勤務其ノ他ノ統一ニ關シ當該部隊又ハ艦ノ長ノ區

處ヲ承ク

第九十二條 班長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能

ハサルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス

第九十三條 班長及隊附ノ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十二章 特設防疫班

第九十四條 特設防疫班ハ之ヲ必要ノ場所ニ置キ第一防疫班、

第二防疫班等ト呼稱ス

第九十五條 特設防疫班ハ作戰地等ニ於ケル防疫ニ關スルコ

1423
1424

46

6019

ヲ掌ル

第九十六條 特設防疫班ニ左ノ職員ヲ置ク

班長

附

第九十七條 特設防疫班長ハ直屬上官ノ命ヲ承ケ班務ヲ統理ス

第九十八條 班長缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能

ハサルトキハ部下ノ職員席次ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス

第九十九條 附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ効力ヲ有ス

第一類 官制 特設艦船部隊令



六〇ノ九

1425

軍第七用郵便所軍海	軍第六用郵便所軍海	軍第五用郵便所軍海	軍第四用郵便所軍海
海口右同	漢口右同	香港右同	廈門佐世保鎮守府
海南警備府	支那方面艦隊	右同	第二遣支艦隊
所員 專務 十三人 判任 奏任	所員 專務 十四人 判任 奏任	所員 專務 十二人 判任 奏任	所員 專務 九人 判任 奏任
所長 專任 一人 奏任	所長 專任 一人 奏任	所長 專任 一人 奏任	所長 專任 一人 奏任
監督官 兼務 一人	監督官 兼務 一人	監督官 兼務 一人	監督官 兼務 一人

64.13

第一類官制 海軍軍用郵便所設置ノ件

軍第二十六海軍郵便所	軍第二十五海軍郵便所	軍第二十四海軍郵便所	軍第二十三海軍郵便所
第二南遣艦隊司令部 第二十一特別根拠地	第二十三特別根拠地	第二艦隊ノ二艦	聯合艦隊ノ一艦
右	吳鎮守府	右	右
同	同	同	同
右	第二南遣艦隊	第二艦隊	聯合艦隊
同	同	同	同
監督官兼務 所長 專任 員 專任 專務	監督官兼務 所長 專任 員 專任 專務	監督官兼務 所長 專任 員 專任 專務	監督官兼務 所長 專任 員 專任 專務
一人 一人 一人 一人 十二人	一人 一人 一人 一人 九人	一人 一人 一人 一人 一人	一人 一人 一人 一人 四人
奏任 奏任 奏任 奏任 雇員	奏任 奏任 奏任 奏任 雇員	奏任 奏任 奏任 奏任 雇員	奏任 奏任 奏任 奏任 雇員

六四ノ二三

既九

1428

6414

軍第三 用郵 便海 所軍	軍第二十九 用郵 便海 所軍	軍第二十八 用郵 便海 所軍	軍第二十七 用郵 便海 所軍
據地隊 第二十六 特別根	據地隊 第二十五 特別根	第四南 部所 在 地 警 備 隊 又 八 六	據地隊 第二十二 特別根
右	右	右	吳 鎮 守 府
同	同	同	第二南 遣艦隊
右	右	第四南 遣艦隊	第二南 遣艦隊
所 員 專務	所 員 專務	所 員 專務	所 員 專務
監 督 官 兼 務	監 督 官 兼 務	監 督 官 兼 務	監 督 官 兼 務
長 專任	長 專任	長 專任	長 專任
一人 奏任	一人 奏任	一人 奏任	一人 奏任
專任	專任	專任	專任
十四人 判任	八人 判任	九人 判任	十一人 判任
四人 雇員	十二人 雇員	七人 雇員	五人 雇員

第一類 官制 海軍軍用郵便所設置ノ件

六四ノ一四

六四ノ一四

六四ノ一四

1429